

平成28年度  
岡山県内におけるカワウねぐら調査報告書  
(冬期調査)



1本の樹木をねぐらとしているカワウ

日本野鳥の会岡山県支部

平成29年 1月

# 岡山県内における冬期のカワウのねぐら利用個体数調査

## I. 目的

カワウは、近年個体数・分布域が増加・拡大し、採食地である河川・湖沼において人間活動との軋轢が増加している。しかし、過去において著しく生息数が減少し絶滅が危惧されたこともあることから、生息数調査及び繁殖状況調査、行動実態調査等を行い、県下の生息実態を明らかにして人との共生を図る基礎資料とする。

## II. 調査方法

### 1. 調査時期

カワウの生息状況のモニタリングのため、ねぐらやコロニーにおける個体数調査を行う。本調査を行うに当たり、11月に会員へのアンケートと事前調査によりカワウがねぐらとしている場所を特定しておいて冬期のカワウねぐら調査を12月に行った。

### 2. 調査場所

1) 河川流域において、コロニーやねぐらが存在する場所：

#### ① ねぐら個体数調査

ねぐらにおける個体数の調査は、最も基本的で重要な調査である。カワウは多くの場合は水辺近くの林や竹林をねぐらとして利用する。事前に調査をしたねぐらおよびねぐらとして利用するコロニーにおいて、日没前の16時ごろから、調査開始時にすでにねぐらに入っているカワウの個体数をカウントしておく。その後、ねぐらを出入りするカワウの個体数を方向別に時間と共に記録する。12月のカワウがねぐらに帰還する時間帯は、日の入りから30分前後を目安として、17時ごろまでとする。調査の初めに居た個体数に出入りした数を足し引きして、最終的にその日にねぐらをとったカワウの数とした。

## III. 調査結果

県内で冬期に生息するカワウの数は、3,629羽であった。その内、吉井川水系で794羽、児島湾を含む旭川水系で1,812羽、高梁川水系で629羽、その他海上における島部で394羽であった。

11月の事前調査では、36ヶ所にねぐらを確認していたが、12月の本調査ではその中の9ヶ所でねぐら入りする個体を確認できなかった場所があった。これは、夏ねぐらとして少数の個体が利用していたが、本格的冬季になってより安全な多数が集まる冬ねぐらの方へ移動したものと考えられる。

カワウねぐらの確認場所とカウント羽数を表-1に示す。

各河川における出現割合を図-1に示す。

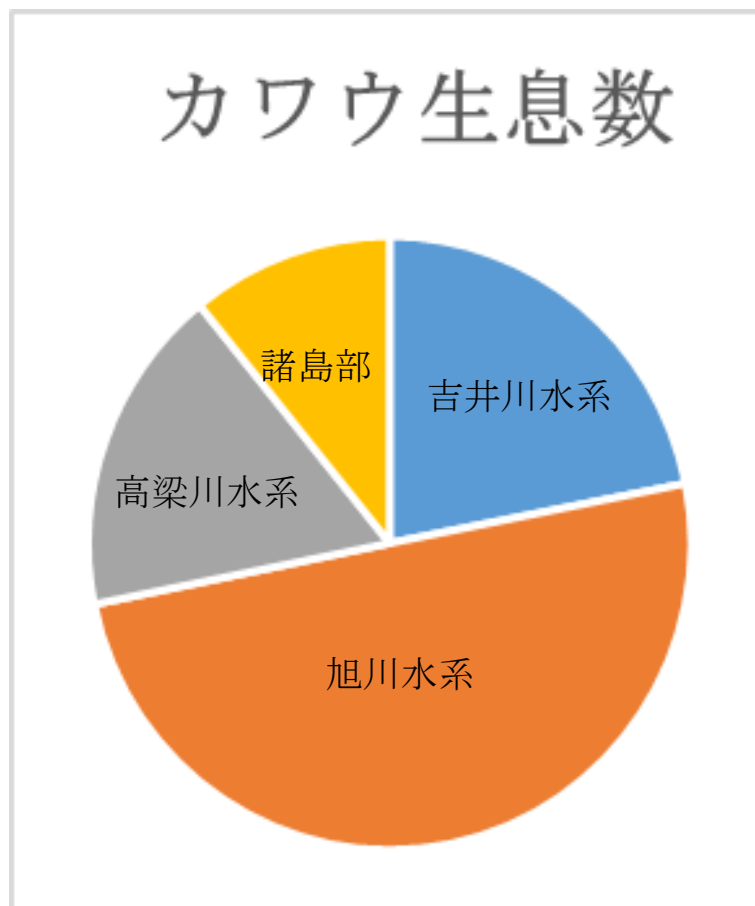
また、確認された場所図を図-2に示す

表-1 平成28年度 冬季ねぐらにおけるカワウ生息数調査

No.	河川名	ねぐら場所	個体数	状況
1	吉井川	岡山市東区川口 中州 観音院対岸	263	コロニー
2	〃	岡山市東区百枝月 豆田対岸	158	冬ねぐら
3	〃	赤磐市熊山勢力 山陽道橋下流	30	冬ねぐら
4	金剛川	和気町藤野	45	コロニー
5	吉井川	和気町佐伯苦木	19	冬ねぐら
6	〃	和気町佐伯塩田 周匝橋下流	27	冬ねぐら
7	〃	津山市瓜生原 押淵上バス停 対岸	0	ねぐら
8	〃	津山市日上	64	ねぐら
9	〃	津山市宮尾 新錦橋上流	121	冬ねぐら
10	吉野川	美作市尾谷 尾谷橋下流	46	コロニー
11	〃	美作市岩辺	21	コロニー
12	切池	勝央町福吉 切池	0	コロニー
	吉井川 水系 小計		794	
1	児島湾	岡山市中区新岡山港 高島	1,286	冬ねぐら
2	旭川	岡山市中区中原 三野公園前	315	コロニー
3	〃	岡山市北区御津 中牧湯須	59	冬ねぐら
4	〃	岡山市北区御津金川	12	ねぐら
5	〃	岡山市北区建部町土師方	0	夏ねぐら
6	〃	岡山市北区建部町西原 中吉橋上流	49	コロニー
7	旭川ダム	美咲町西併和 江与味橋上流	0	コロニー
8	旭川	真庭市落合町法界寺	57	コロニー
9	砂川	岡山市東区瀬戸町笹岡	34	冬ねぐら
10	倉敷川	岡山市南区藤田大曲	0	夏ねぐら
	旭川 水系 小計		1,812	
1	三角池	倉敷市水島通り 三角池	90	夏ねぐら
2	高梁川	倉敷市連島町西之浦 霞橋上流の 中州 鉄塔2基	30	ねぐら
3	〃	倉敷市酒津 清音古池の対岸	185	ねぐら
4	〃	総社市福谷	171	ねぐら
5	〃	総社市槻 槻橋上流 山の林	0	コロニー
6	〃	高梁市松山広瀬	51	冬ねぐら
7	〃	高梁市中井町西方 方谷駅下流	0	コロニー
8	成羽ダム	高梁市備中町西油野 成羽川ダム湖	56	ねぐら
9	河本ダム	新見市哲多町宮河内 河本ダム	46	ねぐら

10	小田川	井原市木之子町	0	コロニー
	高梁川 水系 小計		629	
1	片上湾	備前市 片上湾 前島	209	コロニー
2	千手大池	岡山市東区千手 千手大池	0	コロニー
3	水島灘	倉敷市児島通生 葛島	185	コロニー
	河川以外の場所 小計		394	
県内35か所 冬期カワウ生息数 総計			3,629	

図-1 各河川における出現割合



各割合（県内の冬期カワウ全生息数：3,629羽）

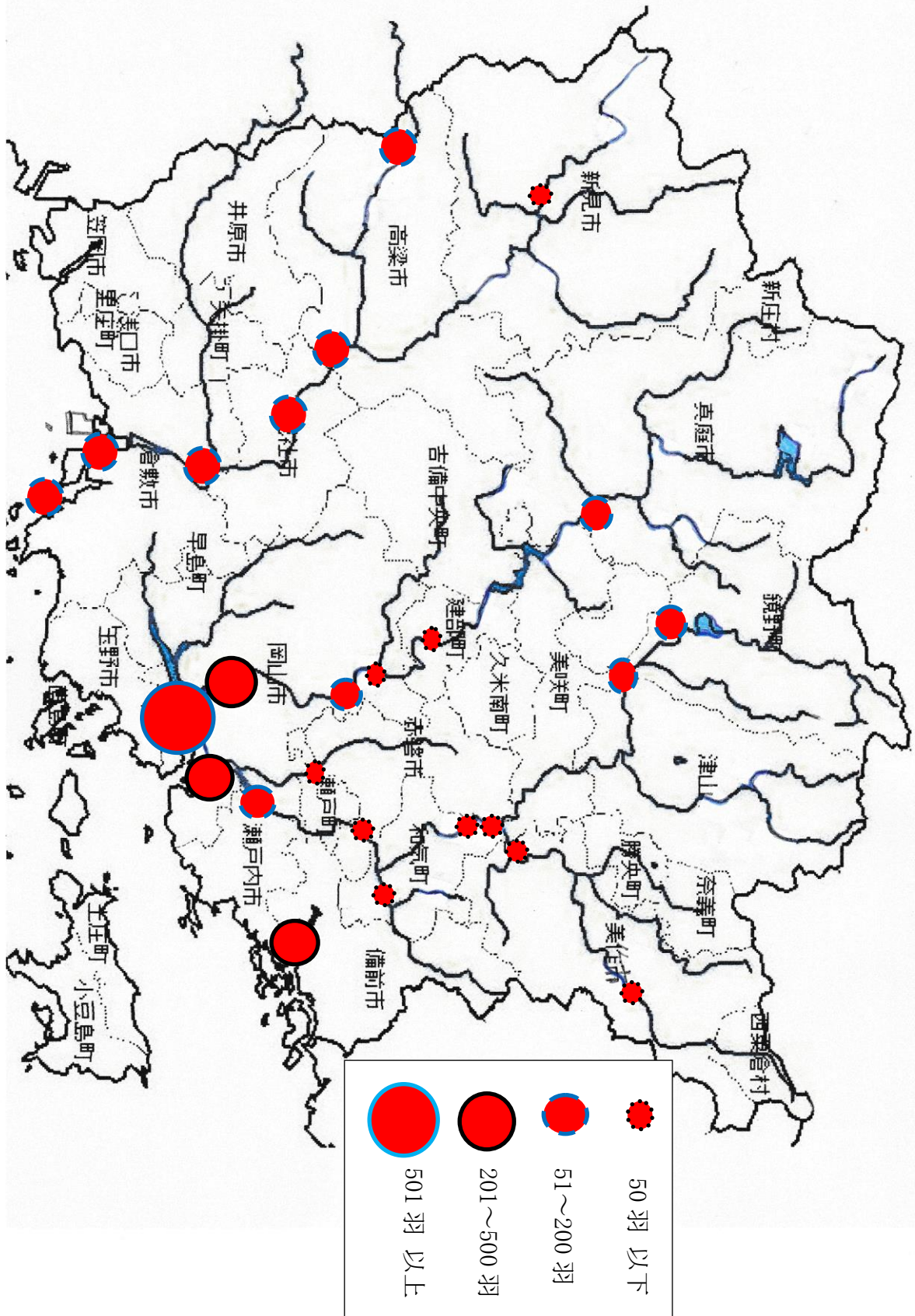
吉井川水系 : 21.9% (794羽)

旭川水系 : 49.9% (1,812羽)

高梁川水系 : 17.3% (629羽)

諸島部 : 10.9% (394羽)

図-2 確認された場所図



#### IV. まとめ

平成28年冬期において岡山県内に生息するカワウの個体数を夕刻に「ねぐら」入りする羽数をカウントして調査した結果、総数3,629羽を数えました。

今年度、繁殖後の夏期調査でカウントした羽数は、2,119羽でしたから、1,510羽増加していたことになる。この増加羽数個体は、冬期に県外から渡来したものと考えられる。

今回確認された冬期羽数は以前の調査と比較すると表-2となる

表-2

調査年度	平成28年度	平成27年度	平成20年度	平成18年度	平成14年度
確認羽数	3,629	3,140	3,245	3,344	2,251

の結果からここ9年～10年の間3千台の増減で、大きな羽数の変化が無いようである。